

火災から家と人命を守る住宅用スプリンクラー 「命の見張り番 消し太郎」



株式
会社

大昭商事

代表取締役社長 清水 信博
〒943-0882 上越市大字中田原80-28
TEL (025) 524-2234 FAX (025) 524-3169

業種：防災機器用品卸
資本金：2000万円
事業内容：消防・防災機器の販売、
設備の施工・保守・管理など

消防・防災関連商品を扱う大昭商事が開発した、水道水を使った住宅用スプリンクラー「命の見張り番 消し太郎」。同システムは、火災を感知すると設置したスプリンクラーが自動散水し、初期段階で消火する。これにより、火災による被害を最小限にとどめ、自力で避難できない高齢者など災害弱者の命を守ることができる。「災害弱者を住宅火災から救う」。同社の強い思いが、この住宅用のスプリンクラーという新商品を誕生させた。

災害弱者を守り、救うことが高齢化社会を支えること

急速な高齢化社会を迎える日本にとって、誰もが快適に生活できるバリアフリー住宅への関心は高まっている。しかし一方、災害発生時の備えはどうだろうか。近年、住宅火災による死者数は増加傾向にあり、その犠牲者の過半数が高齢者ら災害弱者なのである。

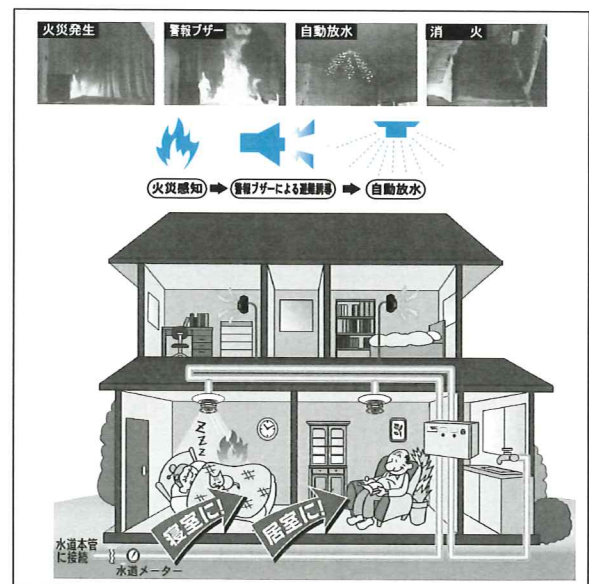
「住宅火災等で自力避難ができない災害弱者の命を守り、救うことができこそ、高齢化社会を支えることができるのではないのでしょうか。現在、行政も個人住宅の防災に力を入れていますが、社会全体では、住宅用消火設備への関心はまだまだ低いです」と、大昭商事の清水社長は危機感を募らせる。

住宅用スプリンクラー「命の見張り番 消し太郎」

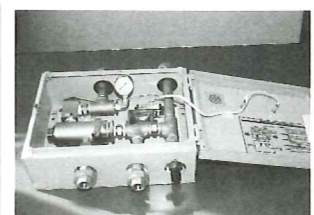
「消火器を使わず、自力では避難できない災害弱者を住宅火災から救いたい」との強い思いから、同社が独自に開発、そしてついに特許まで取得した商品が、住宅用スプリンクラー「命の見張り番 消し太郎」。室内72℃でスプリンクラーが自動的に水を噴射、別の部屋では警告ブザーが鳴り、周囲に火災を知らせる。早期発見、初期消火により火災事故を最小限にとどめることができる。

「命の見張り番 消し太郎」の特徴

- 水道管から直結しているため、メンテナンスがほとんど必要なく、省スペースで低コスト。
- 水道水を使用するため、特別な「貯水槽」や「送水ポンプ」は不必要。
- 風呂場などで水を使っている場合、コントロールユニットで自動的に使用している水をシャットし、スプリンクラーへ送水。
- 消火薬剤は水であり安心出来る。
- 日本消防検定協会鑑定（鑑ス第14～1号）。日本水道協会認定（器-44）
- 特許取得（特許第2985064号）



▲水道水を利用した一般家庭向けスプリンクラー



▲小さくて場所をとらないコントロールユニット